

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回戸田市立郷土博物館協議会
開催日時	令和6年10月2日(水)午後2時から午後4時20分まで
開催場所	戸田市立郷土博物館 3階 講座室
委員長等氏名	戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤勝巳
出席者氏名 (委員)	佐藤勝巳(会長)、伊藤裕厚(副会長)、長谷川理、寿原淑郎、武内三枝子
欠席者氏名 (委員)	若松良一、星野正義
事務局	川和田教育部長、高屋課長、名古屋主幹、本橋主幹、金子主事
説明のため 出席した者	なし
議 事	(1) 令和5年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告について (2) 令和6年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画及び事業報告 (上半期)について (3) 『郷土博物館開館40周年記念祭～みる!きく!あそぶ!～』について (4) 郷土博物館アートミュージアム設置に向けての検討について (5) その他
会議結果	生涯学習課郷土博物館担当から議題の内容について報告をし、報告事項に対して郷土博物館協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	・資料1 戸田市立郷土博物館要覧【令和6年度】 (令和5年度事業報告) (令和6年度事業予定) ・資料2 令和6年度事業報告(上半期) ・資料3 『郷土博物館開館40周年記念祭～みる!きく!あそぶ!～』について ・資料4 郷土博物館アートミュージアム設置に向けての検討について ・当日配布資料 『郷土博物館開館40周年記念祭～みる!きく!あそぶ!～』 リーフレット
議事録確定	令和6年10月18日 戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤 勝巳

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事前配布資料（資料1～資料4）の確認。
事務局	2 委嘱状交付 若松委員及び星野委員から欠席の連絡があった旨報告。 戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第2項の規定における成立要件となる委員の過半数の出席を満たしていることを報告。
教育部長	3 教育長あいさつ（代読）
各委員・事務局	4 委員・事務局職員の紹介
各委員	5 会長・副会長の選出 戸田市立郷土博物館条例施行規則第15条に基づき、委員の互選により、会長に佐藤委員、副会長に伊藤委員を選出。
会長・副会長	会長・副会長あいさつ
事務局	次第6の議事に移る。議事の進行については、戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第1項の規定により、会長が務める。 6 議事 (1) 令和5年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告について
会長	議事(1)について、事務局から説明をお願いする。
事務局	資料1に基づき、事務局から説明
会長	議事(1)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。

委員	バレンタインインスタレーションアートとは、具体的にどのようなものなのか。
事務局	ロビーの吹き抜け空間を利用し、吹き抜け2階部分の図書館通路側から博物館事務室側にテグスを渡して、そこにバレンタインをイメージした赤やピンクのオブジェを吊るし、空間全体を飾るような展示をした。オブジェについては、埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校の生徒が和紙を染めてつくったものを組み合わせて作りあげた。そうした作品をいくつも空間に吊るすという展示構成にしていた。
事務局	補足として、資料3の「郷土博物館40周年記念祭」の右の方に、「埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校」の展示写真がある。このようなイメージで展示をした。
委員	インスタレーションというと、映像と音楽が一緒になる新しいアートの形式ではある。今回の展示は誰かが動かしたりはしないのか。
事務局	そのようなことはしていない。あくまでも空間全体を展示に見立てて行う展示の形式である。
副会長	彩湖自然学習センターの一般対象講座で「野鳥を見よう②③」があつて、その他に「市民大学講座 彩湖周辺の野鳥観察」がある。これらの違いはどのようなものか。
事務局	まず「野鳥観察会」で①から⑤がある。こちらについては、講師の方から鳥の解説を聞きながら周る、といった趣旨の講座になる。「野鳥を見よう」については範囲の方が広がる。彩湖自然学習センターの学芸員と一緒に野鳥の他にも昆虫などその時に見られる生物を見て周るといったカジュアルの趣旨の講座になる。自然に触れ親しむという目的で3回実施をさせていただいた。
会長	募集の時にはそれらの違いが一般の方に分かるように広報でお知らせをするのか。

事務局	<p>広報でもお伝えはしている。後は市内小学校の各家庭に送る機関紙「カワセミ通信」というものがあるのだが、各講座の趣旨の違いをそれらでお伝えしている。あと異なる点としては開催時間が異なる。野鳥観察会は10時、野鳥を見ようは9時から開催した。</p>
副会長	<p>博学連携事業で、博物館授業の実施回数（小学6年生郷土博物館授業12校）と、彩湖自然学習センター授業の実施回数（19回）の単位が異なるので、統一したほうが良いと思う。12校で19回という認識で良いか。</p>
事務局	<p>12校が来て19回というのは午前と午後に来ている場合を指している。いわゆるクラス数が多い学校が当てはまる。クラスが多いと、近くで見てもらうような授業（昆虫観察など）は、グループ分けをしてしまうと人数が限られてしまう。そのため1回あたりで2クラス、3クラスとなると午前と午後に授業が分かれてしまうので、19回という結果になった。</p>
副会長	<p>サイエンスサポートプログラムでは、出前授業は何回行ったか。</p>
事務局	<p>令和5年度について、出張授業は3回行った。教材提供は8回行った。</p>
副会長	<p>これも分かるように表記を工夫したほうが良いと思った。中学生の社会教育チャレンジ授業のところも表記の仕方が異なるので、5校12日間といった表記になるのではないかと思った。</p>
会長	<p>博物館の小学校への資料の貸出しについて、体験セットはあるのか。</p>
事務局	<p>体験セットというメニュー化はしていない。先方の要望を伺って求めている資料を調整しながら組み合わせて提示している形である。貸出資料も使えるものがなかなか揃わないという課題はあるが、今後そのあたりも開拓したい。触ったり体験したりできる貸出資料をもう少し整えることができれば、セットで組んでご提示でき、切り口としては効果的なのかと考えている。</p>
会長	<p>そういったセットがあれば学校側も使いやすいと思った。</p>

	<p>他にご意見・ご質問等がなければ、議事（１）については以上とする。</p> <p>（２）令和６年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画及び事業報告（上半期）について</p>
会長	議事（２）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料１および資料２に基づき、事務局から説明
会長	議事（２）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
委員	美女木八幡社で里神楽を再開したという話を聞いたが、そういった情報はあるか。
事務局	氏子の方等が尽力をされて何年か前から埼玉県内の社中の方をお呼びして神楽殿の方で開催をされていると伺っている。博物館にも氏子の関係者の方から周知用にリーフレットをいただいております、一般の方にもご覧いただけるように掲示をさせていただいていた。文化財担当の職員も昨年伺って拝見したところである。
委員	沢山の人が見に来られてリーフレットも全員に配ってくれて感激だった。さいたま市中央区の大戸で行っている人たちが、川越の女子高生２人と川越の人たちをお呼びして行った。このような素晴らしい芸能は続けてほしいと思った。
会長	それは夏祭りか。
委員	秋祭りになる。
委員	舞台だけ残って途絶えてしまったものをまた再開させようという方がいると聞いた。
会長	前に一度見たことがある。その時は神楽を専門で行う方々を呼んだと話を

	聞いた。
事務局	今回も主に演じられている方は、大戸の方で活動されている岡田民五郎社中の方とのことだった。
委員	主催は美女木の町会だった。
会長	私が観たのは、新しい釣鐘の鑄造をしたお祝いを兼ねて神楽を奉納するというものだった。 他にご意見・ご質問等がなければ、議事（２）については以上とする。
	（３）『郷土博物館開館４０周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～』について
会長	議事（３）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料３および４０周年記念祭リーフレットに基づき、事務局から説明 戸田地域のケーブルテレビであるジェイコムが作成した４０周年記念祭の動画も視聴
会長	議事（３）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
委員	大体何人くらいの参加を見積っているか。
事務局	昨年の図書館４０周年記念祭の統計を見るとかなり多くの方が集中して来館しているのが見受けられた。図書館と博物館の来館者の層は異なるが、なるべく多くの方に来館していただきたいと考えている。昨年の図書館４０周年記念祭の時は、常設展示室の来館者が２００人台という日もあった。今回は博物館をメインに行っているイベントでもあるので、昨年お越しいただいた数よりはもう少し来館者数が増えると有難いと考えている。
委員	家族が参加しそうなイメージがあるが、駐車場は足りるのか。

事務局	<p>駐車場がかなりの台数があるのと、裏側にも若干だが駐車場があるので、全く入れなくなるということはないと考えている。</p>
事務局	<p>臨時駐車場も別にあることと、今年の図書館40周年記念祭の時も、駐車場のトラブルは聞いていないので大丈夫だと考えている。</p>
委員	<p>小学校・中学校に周知をするのに広報だけに任せるのはもったいないと思った。図書館や色々なところに配架をするとか何か考えはあるか。</p>
事務局	<p>リーフレットは数が限られているところではあるが、各小中学校向けには校内掲示ということでポスターは配布させていただいている。ポスターはリーフレット表面のA3バージョンである。</p>
委員	<p>博物館の下にある図書館にも置いてもらえると見てもらえと思った。</p>
事務局	<p>この間納品されて、ポスターとリーフレットのお渡しをしているのでこれから掲示や配架をしていただけたらと思う。</p>
事務局	<p>今回の40周年記念祭で、図書館と協働して行うみどりパルたんけん隊という講座があるのだが、それについてカワセミ通信の中で掲載をしている。また、40周年記念祭のホームページのQRコードも掲載している。各小学校の家庭にも届くような形にしている。</p>
会長	<p>ぜひ宣伝も大きく行って、少しでもみなさんに知ってもらえるようにするのも必要かと思う。</p>
副会長	<p>2日間、朝から晩までイベントが入っているがボランティアや応援の方の確保はできているのか。</p>
事務局	<p>博物館の職員だけだと限りがあるため、図書館の指定管理者、図書館担当、彩湖自然学習センターの担当にもご協力をいただく予定である。また、イベントだと職員だけでは手がまわらない部分もあるので、博物館ボランティアの皆様にもお声をかけさせていただいている。</p>

委員	どれくらい博物館ボランティアは集まったか。
事務局	11月2日と3日に講座があるが、それぞれ2、3名ずつ今のところ集まった。
会長	他にご意見・ご質問等がなければ、議事（3）については以上とする。 (4) 郷土博物館アートミュージアム設置に向けての検討について
会長	議事（4）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料4に基づき、事務局から説明
会長	議事（4）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
会長	今ある展示以外に、絵画等を展示できるような部分をいれるといった理解で良かったか。
事務局	絵画や彫刻、書道など市民の作品を展示といったことを検討している。幅広くアートの物を展示できるといった仕掛けを考えている。ハード面としては、場所をどこに設置するか検討するところである。ソフト面としては、場所ができた後にどういった運営をするかが挙げられる。事務局としてはハードとソフトの両方を検討していく中で、皆様のご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。
会長	要するに美術館としての機能より、貸しギャラリーを含めたような広い意味でのアートミュージアムということである。高校生の写真展など現在開催している取り組みも布石みたいなものもあるという理解で良かったか。
事務局	現在は単発的に行っているが、何月はこのアートを飾るといった年間を通した常設的な展開ができたらと検討している。

会長	この計画をみると、来年度は何らかの形にしなければいけないというような計画内容ではある。
事務局	来年の2月頃の協議会で事務局としての案をご提示できたらと考えている。
委員	日曜日から戸田市の市展が文化会館で行われている。昔、結婚式の会場だった場所に主だった方の絵も飾られている。全体的に募集をして飾るのでは市展と博物館の差別化がないので、そのあたりの工夫が必要かと思う。できたら小学校の作品をいれると、自分の子の作品があるなど、ここに来るきっかけがあるのではないか。
委員	博物館が途中からアートミュージアムになる例はあるのか。たとえば博物館でキュレーターを呼んで知恵を伺うといったことは考えているのか。
事務局	当館や戸田市は、有名な作家の体系的なコレクションがあるという状況ではないため、館所蔵のものをどんどん増やして展示を構成していくというのは難しいととらえている。館所蔵のものをある程度潤沢に持っているというのであれば、その専門性を持った方を学芸員として呼びして、館所蔵資料を定期的に回して展示を構成し、研究等も進めていく施設になっていくと思うが、そういう状況ではない。先ほど会長がおっしゃったようにギャラリー的な形で、なおかつこれまで既存の美術関係の団体やそういったものに入らなかった方たち（学生さんやお子さん、障がい者の方など）も含めて、ギャラリーとして展示をしていけるようなもので年間を回していくという常設的なものの方向性が考えられる。そうした方向性で持っていく場合でも、美術で専門性がある、絵画に詳しいといった以外の能力として、年間を通して色々な方と調整をしながらコーディネートしてギャラリーを回していくというような方も必要だと考えられる。アートミュージアムを運営していく中では、コーディネートができる方をお呼びしてご協力をいただいて施設運営を進めていくことが考えられる。
副会長	美術系の学芸員を採用する考えはあるのか。

事務局	市の職員（常勤）としてのハードルは少し高いが、重要な課題だと認識している。
副会長	特別展示室みたいな部屋を使うのは専門の方のアドバイスを聞きながら進めやすいと思うのだが、常設展示室となるとスペース的に厳しいのではないかとと思うがどうか。
事務局	常設展示室の後半部分のレイアウトの見直しをすることによって場所をつくれないうか、あいた場所でアートのものを展示できないか、検討していきたいと考えている。
委員	気軽に利用できるようなスペースでも使いやすいと思う。色々できるのではないかとも思った。
会長	アートミュージアムときくと凄いのを考えると、人や場所など限りがある中で行うとなると、先ほど委員がおっしゃったとおり市展とのすみ分けもある。日替わりでできるギャラリー的なものを行うしかないのではないかとと思う。博物館の途中からアートのものをいれるのも難しいのではないかと考えた。ただし、これからの案もあるかと思うのでそれを踏まえて考えていけたらと思う。開館40周年を踏まえて検討も必要かと思うので、何か良いものをお願いしたいと思う。
副会長	展示スペースさえ確保できれば、美術系のグループは沢山あるので、そういった作品を飾っていくのもありかと思う。
会長	他にご意見・ご質問等がなければ、議事（4）については以上とする。 （5）その他
会長	議事（5）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	令和6年度第2回戸田市立郷土博物館協議会については、令和7年2月頃の開催を予定。詳細が決まりしだい、改めてご連絡する旨説明。

会長	<p>議事（５）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。 特にご意見・ご質問等がなければ、議事（５）については以上とする。 本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>7 閉会 議事終了 閉会 午後４時２０分</p>